

| | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| | DATE | P1 | F-7+(8) |
| 141 J | 2/96 | B41 J | 3/18 |
| 108 G | 16/05 | G03 G | 16/06 |
| | | | 116 |
| | | | 2H02B |

審査請求 未請求 請求項の数 01 (全 18 項)

代表取締役 0336672369
セイコーエフソン株式会社
東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

長野県諏訪市大和3丁目8番5号 セイコ
ーエフソン株式会社内
古賀 氏宛

エフソン株式会社
100628509
代表人 伊藤 隆雄 (男7名)
伊藤 隆雄 (男7名)

● 読者氏に送る

10

162739

15)

• • • • • [] • • • • •

APR 2002-113897

—45104号公報においては、針電極を炭素がラスをコーティングした炭田材料に当接させ、更に、炭田材料に潤滑油を塗布することにより針電極の損傷防止への効果を防止する提案をおこなっている。

【現明が解決しようとする疑点】おしなながら、仲間問題
63-45104号公報においては、今後は付電極の腐
蝕が発生し、充電時に電圧が急激に急電流値のサイズマ
を発生して、充電が完了しないという問題が示されている。

た、オセルを強相対体に取る構成が算術的根拠のために必須の要件のため、トナー等を直接認識できず、強相対体は中間強相対体としてしか使用できないという問題を有している。

【0006】このように、多針型変圧式は、作電増幅器位相ラフンギヤすく、作電増幅器位相も感増強化するため、高線品質が低下するという問題を有し、また、針増極と増極棒棒との間隔や位置決めのための高精度な保持

化を招くという問題を有している、また、針電板のため
接点圧力が高く、電磁および兼圧持体が短時間で破壊し
てしまうという問題や、印字部強度が低いことなどに、中

【0007】本稿所は、上記従来の問題を解決するもの
であつて、普通電話線の電位、サインを安定させ高分解
率、高速度の動作を要することであるとともに、電

提および製造材料の単位を低減させ耐久性の向上を図ることのできる阻熱形成装置を提供することを目的とする。

に、本発明の図面形成装置は、検出特性の対方向に於いて検出特性と類似または近接配置される複数の電圧電流を得たとき電流値調整を用いて検出特性上に静電荷量を得ることを所定するなどの手段）上に目的を達成するため。

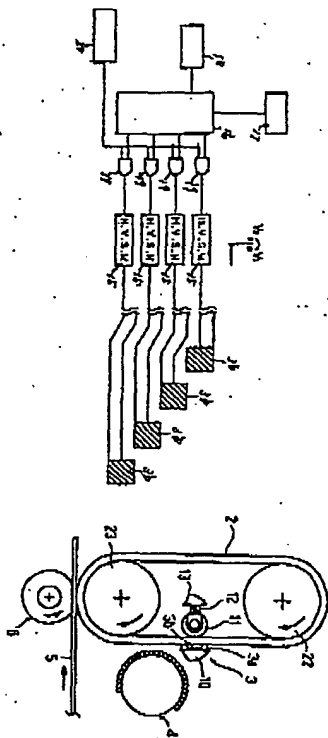
かれた基材と銀担持体のいずれか一方が増主を有し、可
 燃性を有する基材または銀担持体中、基材または銀担
 持体を増圧する所定基材を放れたことを特徴とし、前記

位を消し、佛相持体の巨龍方向へ向い、地に基柱を固定することを作業とし、捨て梁の配筋の要領は、筒束梁^①において、捨て梁が可搬性を消し、佛相持体の両端方向、捨て梁を固定することを作業とし、筒束梁^②配

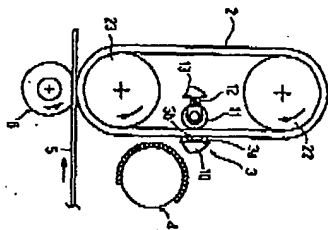
前載の発明は、請求項1ないし3のいずれかにおいて、前記圧電材料を付勢材料により付勢することを特徴とし、請求項5記載の発明は、請求項1ないし3のいずれかにおいて、前記基材が可塑性を有し、前記圧電材料の形状

を特許とする。
[0009]

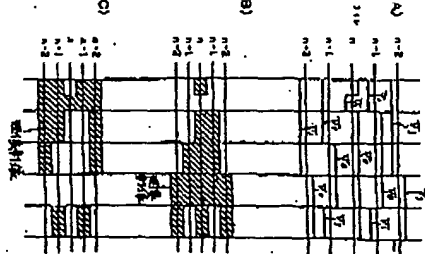
[図6]



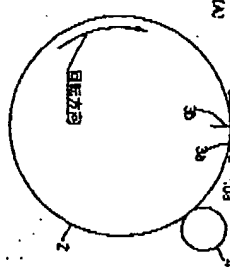
[図13]



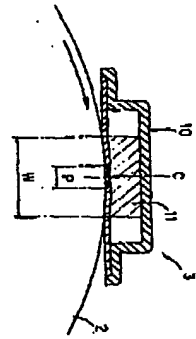
[図6]



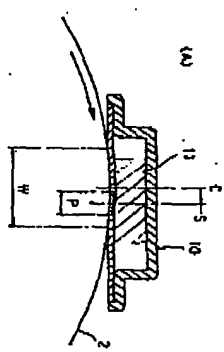
[図7]



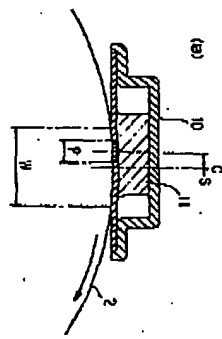
(a)



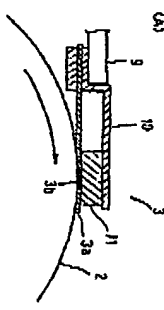
[図8]



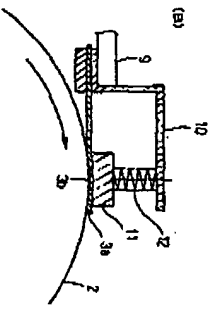
(a)



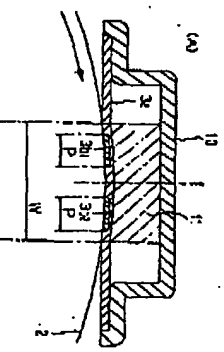
[図11]



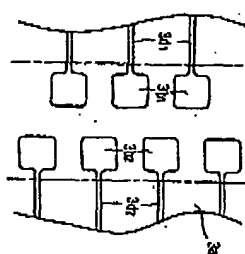
(a)



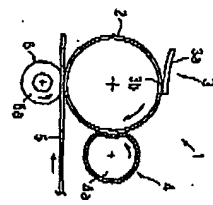
[図9]



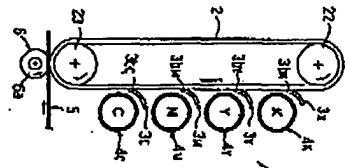
(a)



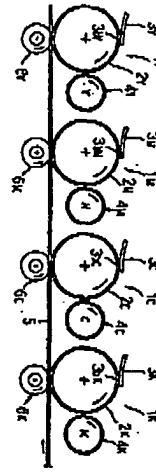
[図14]



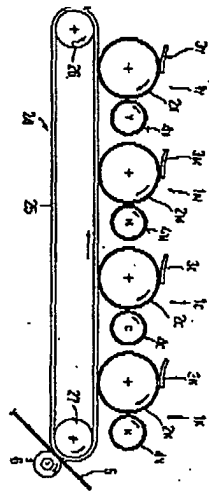
[図15]



[図16]



[図17]



コンポーネントの図

発明者 氏名 佐藤 伸一
住所 東京都品川区大和3丁目3番5号 セイコ
ーエレクトロニクス株式会社
代表取締役社長 佐藤 伸一
住所 東京都品川区大和3丁目3番5号 セイコ
ーエレクトロニクス株式会社
代理人 佐藤 伸一
住所 東京都品川区大和3丁目3番5号 セイコ
ーエレクトロニクス株式会社